

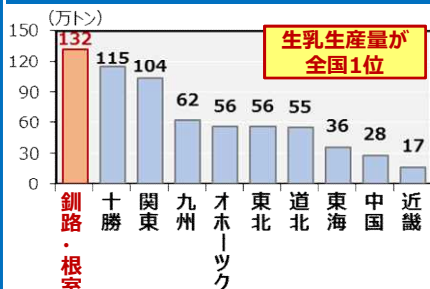
港湾整備との連携により 酪農産業の発展を支援



釧路外環状道路（釧路東IC～釧路別保IC） 上別保道路

- ◆ 釧路・根室地域の生乳生産量は全国1位であり、釧路港から道外への出荷量は約14.7万トン。地域では大規模農場やTMRセンター※の整備など生産基盤拡大に向けた取組を推進。
- ◆ 釧路港では、平成30年11月に国際物流ターミナルが整備され、大型船の満載での入港が可能となったことから乳牛飼育に欠かせない飼料原料の輸入コスト低減が期待される。
- ◆ 今回の開通により、釧路港と酪農地域とのアクセス性が向上。釧路港整備と連携した飼料の効率的な供給及び生乳の安定的な輸送が可能となり、酪農産業の発展を支援。

生乳生産量（平成29年）



資料：北海道の酪農・畜産をめぐる情勢（北海道農政部）、牛乳乳製品統計（農林水産省）

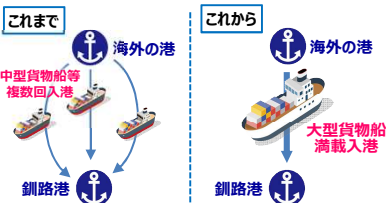
釧路港⇄酪農地域の生乳や配合飼料の輸送



※TMRセンター
粗飼料と濃厚飼料等を混ぜ合わせて、栄養価の高い「混合飼料(Total Mixed Rations)」を農家に供給する施設

TOPIC（飼料輸入のコスト軽減）

- 国際物流ターミナルの整備より、大型貨物船の入港が可能となり、一度に大量の飼料原料穀物を仕入れることで、輸送コストが軽減され、飼料輸入コストの軽減が期待される。



資料：食料・農業・農村政策審議会畜産部会資料

国際物流ターミナル（釧路港）



地域の声（釧路港関係者）

- ・ 釧路港の国際物流ターミナル整備により、酪農生産者に低価格で安定的な飼料供給が期待されます。
- ・ 輸送力を強化する陸上輸送体系の確立が、酪農産業の発展に貢献するため、今回の開通に期待しています。

地域の声（農協出資型大規模農場）

- ・ 安価な飼料の調達が可能となることを受け、生乳生産拡大に向けた整備を進めています。